

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施しています。

あなた又は対象者さんの代理の方が、この研究のために対象者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、あなたに不利益となることはありません。

研究課題名	能登地区における関節リウマチ医療連携の現状と課題
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 血液免疫内科学 山田 和徳
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2028 年 3 月
対象者	2021年8月から2025年1月に能登北部、能登中部地域でリウマチ診療に従事されている医師を対象とした、業務改善アンケート回答者。
当該研究の意義・目的	日本において、2003年に抗TNF阻害剤が上市されて以来、関節リウマチの治療は大きなパラダイムシフトを起こしました。現在のリウマチ治療の目標は寛解または低疾患活動性を維持することであり、その目標達成のため、生物学的製剤やJAK阻害薬を含めた様々な治療選択が個々に応じてなされています。一方で、リウマチ専門医の多くは都市部で勤務しており、専門医の偏在およびリウマチ医療の地域間格差が問題となっています。石川県においてはリウマチ専門医の多くが金沢市や内灘町などの金沢市近郊で勤務しており、専門医が偏在していますが、専門医の少ない能登地区においては多くの患者さんが1-3時間かけて遠方の専門施設に通院せざるを得ない状況となっています。患者さんが居住地で専門的な医療を受けられるようにするためには、医療連携を推進する必要があると考えます。 この研究では業務改善の為に毎年行われている記名式アンケートのデータを匿名化して使用し、関節リウマチおよびその類縁疾患の診療における地域における問題点を抽出し、専門施設がどのようにに関わり、医療連携推進に貢献できるかについて評価いたします。それにより、現在の問題点を抽出し、関節リウマチおよびその類縁疾患の診療において、我々専門施設が果たす役割を明確化し、また、その問題点解決のため、適切な医療講演会や勉強会を行い、非専門医である地域のかかりつけ医がリウマチ診療に関わりやすくなることが期待できる、すなわち、最終的な目的である居住地で専門的な医療を受けられる体制の構築に寄与できると考えます。
方法および研究で利用する試料・情報について	2021年8月から2022年1月に行われ、回収された、能登北部、能登中部地域でリウマチ診療に従事されている医師を対象とした、業務改善アンケートから個人情報削除して医師の保有資格や経験患者数などの医療者側の背景と、治療法や懸念事項などについての相関について解析・検討します。 この研究で得られたデータは研究発表後10年間保管され、その後適切な方法で破棄されます。この研究で集められたデータは、個人情報を削った状態で使用され、外部にあなたの個人情報が漏れることはありません。 研究成果の発表先はまだ不明ですが、論文として論部雑誌、学会に投稿されます。この際もあなたの個人情報が公開されることはありません。 この研究では生体試料の扱いが無いので、もちろんヒトゲノム解析は行われません。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。

利益相反について	この研究は金沢医科大学教育研究費によって行われ、特に開示すべき利益相反はありません。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 血液免疫内科学 山田 和徳 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211 内線（3532）

作成日： 2025 年 04 月 3 日